

経営比較分析表（令和5年度決算）

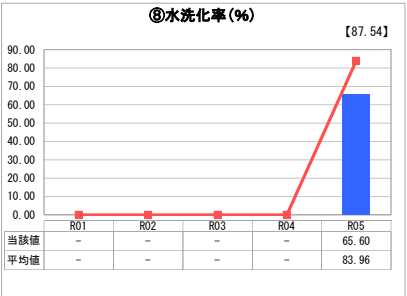
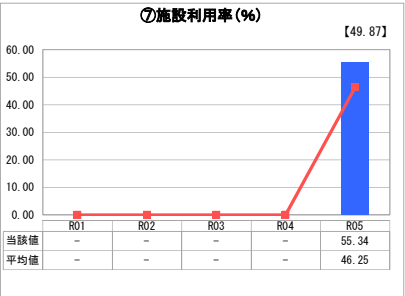
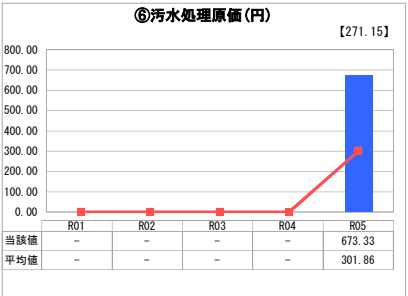
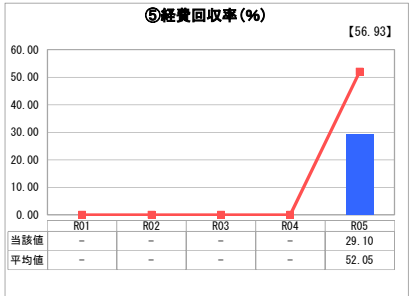
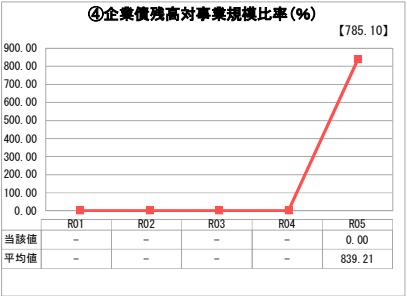
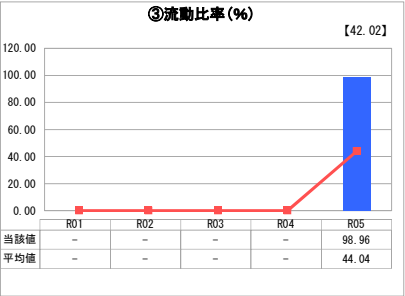
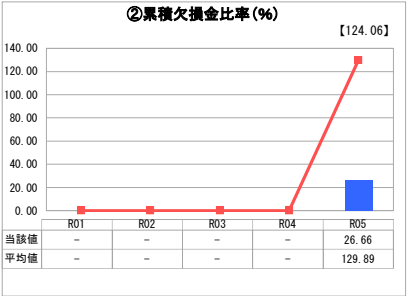
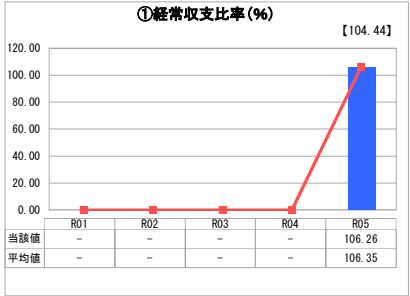
和歌山県 日高町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	59.90	55.11	100.00	4,310

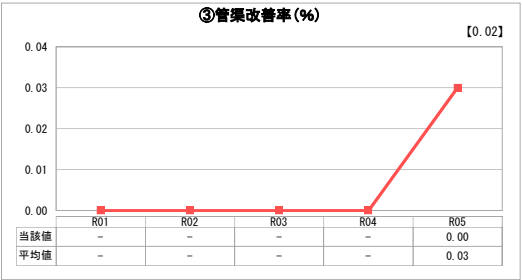
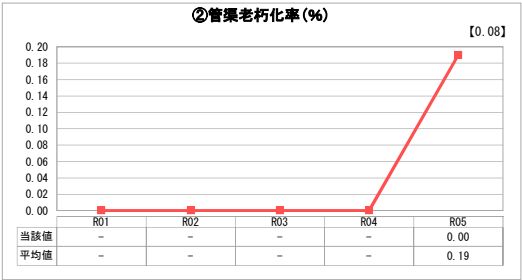
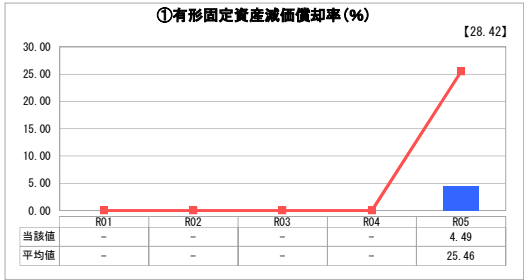
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,986	46.21	172.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,386	0.87	5,041.38

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度より法適用に移行し、経営収支比率は、106.26%で、類似団体平均値・全国平均と同等の数値であるが、経費回収率は、大きく下回っている。収支について、維持管理費等を使用料等で賄えておらず、一般会計からの繰入金に依存している状況である。

今後は、少しでも経費回収率を上昇させるためには、使用料の収入を増加させ、また集落排水への接続率の向上に努める必要がある。また維持管理費の経費削減に努め、経営の健全化を図りたい。

また、施設利用率は、類似団体平均値・全国平均より高い水準になっているが、水洗化率は、低い数値であるため、水洗化率の向上を図るために、接続促進の普及・啓発活動を行い施設利用率の向上を図っていく。

2. 老朽化の状況について

供用開始から、15年以上経過しているが、管路等の施設はまだ老朽化に至っていないものの、施設の長寿命化を図るため、機能診断調査および最適化構想を基に、更新事業を実施しました。しかしながら汚水処理の環境が厳しい状況であり、施設及び中継ポンプ所のポンプ類の故障が多発している。今後は、維持費等の削減を図るために、更新時期を見据えた計画的な管理運営が必要である。

全体総括

安定した下水道経営の実現のために、歳入歳出の両面における経営の健全性及び経営の計画性・透明性の向上を図るため、令和5年度より法適用に移行した。

下水道事業会計の収支について、営業費用は、下水使用料で賄えておらず、一般会計からの繰入に依存している現状であり、今後、少しでも経営改善を図り、維持管理費等の削減や長寿命化を図るため施設の更新等について経営戦略を策定していきたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。